

いんざい里山マップ®

~歴史と文化わくわくコース~

北西部版

みどころ 亀成川の自然



市内の里山で見られる 植物

印西市は利根川・印旛沼・手賀沼などの水に囲まれた緑豊かな地域である。

里山を巡ると豊かな自然が多く残っており、谷津田の美しい自然が間近に見られる。しかし、開発や田畠の耕作放棄、竹林や雑木林の荒廃などによる動植物の減少も気になる。貴重な植物は人々が保全している場所でひっそりと生き延びている。

●野草（よく見られる種）

ホトケノザ、スミレ、ハルジオン、ナルコユリ、シロツメクサ、ヤブカンゾウ、ネジバナ、ヤマユリ、ミズヒキ、ツルボ、ヒガンバナ、ツリガネニンジン、カラスノエンドウ、ガガイモ、センニンソウ

●野草（希少種）

オミナエシ、ヒロハノカワラサイコ、ジュウニヒトト、タニギキョウ、キンラン、ギンラン、クマガイソウ

●樹木（よく見られる種）

本来の自然植生であるシイやカシなどの照葉樹、雑木林のイヌシデ、コブシ、クヌギ、コナラ、エノキなど。

●特定外来生物指定種

ナガエツルノゲトウは水辺の多い市内で目立ち、在来種と競合し水流を妨げ、水生生物の生活を阻害している。同じくアレチウリは他の在来植物の生育を妨げ、問題になっている。

※平成27年度の市自然環境調査では、市内で143科915種の植物が確認されている。



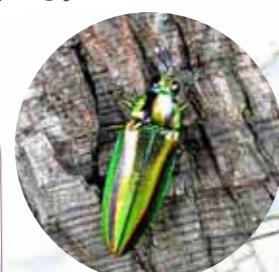
何の写真かわかるかな？ 答えはウラを見てね！



地域の特色

北は利根川と下手賀沼に接する。利根川沿いの木下（きおろし）地区は江戸期から明治期にかけて栄えた河岸（かし）の面影を残し、河岸問屋の土蔵が保存されている。中央を東から西に流れる亀成川の支流古新田（こしんでん）川の源流池は、自然を生かした公園として整備されている。西に位置する下手賀沼流域の発作（ほっさく）地区は一面に田園風景が広がっており、白幡、浦部、和泉（いずみ）地区には寺社を中心とした農村の伝統文化が大切に残されている。南側の大塚、鹿黒（かぐろ）南地区などの千葉ニュータウンは開発が進んでいる。

ナンバンギセル



ミツバアケビ

ヤマトタマムシ

境内から見る手賀沼の眺望

境内に湧水池

大六天神社

観音寺

鳥見神社（浦部）

月影の井

白幡

浦部

小倉

浦幡新田

高西新田

阿夫利神社（石尊様）

フレンドリー

木刈

中央北

千葉ニュータウン中央駅

ホタルカズラ

A-1

浦部・小倉・和泉地区



N
4
200m

伝統行事「獅子舞」

鳥見神社（平岡）

A-2

A-3

ふれあい文化館